

令和 6 年度第 1 回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 令和 6 年 7 月 25 日（木）15：00～17：00
- 2 開催場所 白井市文化センター2 階 中ホール（かおりホール）
- 3 出席者
 委 員 苛原会長、志摩副会長、吉弘委員、進藤委員、大西委員
 事務局 高花文化センター長、藤田館長、佐々木副主幹（係長）、高嶋主査
- 4 傍聴者 3 名
- 5 会長あいさつ
- 6 事務局紹介
- 7 報告事項
 (1)令和 5 年度図書館事業実績について
 (2)令和 6 年度図書館事業計画について
- 8 協議事項
 (1)先進図書館の視察について
 (2)開館 30 周年記念事業について
- 9 その他
 ・平成 6 年度蔵書点検結果報告について
 ・セルフ貸出機の増設について
 ・次回開催予定について
- 10 配布資料
 (1)会議次第
 (2)会議資料
 (3)文化センター30 年間のあゆみ
 (4)文化センターだより 7 月号
- 11 議 事 以下のとおり

会長

お忙しい中、また大変暑い中、本当にありがとうございます。
 図書館にはなかなか来る機会がなかったが、本日は会議前に委員の皆様と
 書庫を見学させてもらった。書庫見学は 2 回目だが、改めてお金がかかる
 施設だと感じた。今後白井の人口が減っていく傾向であるようなので、そ
 の辺も含めて考えるとなかなか難しい問題だと感じている。暑いので端的
 に意見を述べていただいて 16 時半頃には終わりたいと思いますので、ご
 協力お願いします。

事務局

報告事項

- (1) 令和 4 年度図書館事業実績について

委員	企画展示についてはこんな資料があるのかと知ることが多々あるので、そこは勉強させていただいて評価している。 質問で、12 ページの職員数について。職員の方が 6 名、任用として仕事されている方が 15 名。実数は分からないが、2000 年が職員の方が 15 名、任用されている方がちょっと見方は分からなかったけれども、構成がずいぶん違っている。前回の会議のときに人件費が激減しているという記憶があったが、多分ここらへんが原因、要素なのかなと思っているのが一つと、この職員数の減で運営するに当たっての不具合はあるか。それとも、これで十分ですということで運営されているということか。2000 年とだいぶ違う。毎年 2 年に 1 人ずつ減っていくという感じだが、これは問題ないか。
館長	前館長の異動があり、その分が減員となり、今年度は職員 6 人体制となった。1 人当たりの業務量が増え、当初の見積もりより時間外業務も増えている。来年度は職員 7 人に戻して欲しいと考えている。会計年度任用職員は週 3～4 日の出勤で 15 人雇用している。会計年度任用職員は、カウンター業務を中心に図書館業務全般の補助を担っている。昨年度より 3 人減だが、1 人当たりの出勤日数が若干増えていて、図書館カウンターサービス業務については問題なく出来ていると思う。
委員	今の体制で不具合はないということですね、結構です。
委員	質問だが、以前まで覚えていた言葉だが、会計年度任用職員というのは具体的にどういう形態の職員か。
館長	令和 2 年の地方公務員法の改正により導入された非常勤の地方公務員である。当館の場合は 1 日 7 時間で週 3～4 日のシフトになっている。
委員	いわゆるパートタイマーという位置付け、給与か。 市の正式職員ではないということか。 ボーナスやいろいろな保険関係もないのか。
館長	当館の会計年度任用職員は、雇用保険・社会保険に入っていて、賞与も出ている。今年度からは勤勉手当も出るようになった。
委員	規定に応じた賞与ということで、分かった。このところパートタイムがいろいろな業種に増えているので、図書館の場合はいろいろな方が大勢いらっしゃるの、そういう専門知識も含めてどういう方がおやりになっているのかなという疑問があった。

委員	21 ページの図書館のサービス指標というページだが、当たり前のような質問になってしまうが、令和 2 年度、他の年度と比べて貸出コストが 409 円 80 銭、大変一冊貸出コストが高くなっているのは、これはコロナ由来という理解でよいのか。 ほかと比べても 300 円ちょっとなので、この年だけイレギュラーという理解でよいのか。
館長	そのとおりです。
委員	39 ページの県内公立図書館サービス指標、これを見ていると、当図書館はいわゆる蔵書等の資産としては県内の中でも割合優秀な図書館かなと思うのだが、下の方の貸出指標は、他の地区と比べてあまり成績良くないなど。 見ていくと、カードの登録件数に由来しているのかなと思う。他にも要素があるのかもしれないが。 そうすると、この後の図書館の一つの仕事として、市民の方に、より良く本を提供できる体制のためには、カードの登録の拡充がポイントの一つになってくるのかなと思う。
館長	個人貸出登録率が平均よりも低いことについては、以前と比べて減ってきていることは事実であるが、当館では個人貸出の登録率は有効登録者数で算出している。市民の利用カードの有効期限を 5 年にしているが、更新時期を過ぎたカードで利用しているケースもあり、その場合は数に反映されていない。
委員	他の市町村も同じようなことか。
館長	開館当初からの登録を積算している図書館と、当館のように有効期限内の登録数で算出している図書館がある。有効期限も図書館によって違うので、平均的な数を取るというのが難しいところである。 (2) 令和 5 年度図書館事業計画について 質疑なし

	協議事項 (1) 先進施設の視察について
館長	この秋に、来る大規模改修にむけて、今後の図書館のあり方を検討していただく際の参考に、先進施設の視察を計画している。候補日は3日あるので、参加者が多い日に設定したい。
委員	白井の出発と帰りの予定時刻について、もしおよその見当がついていたら教えてほしい。
館長	正確な時間はまだこれからだが、1館あたりの視察時間は1時間から2時間を見ている。道の混み具合などにもよる。調整をとって時間等は早めにお知らせできればと思う。
会長	予定については、また後で出していただければよいか。
館長	日程調整を先にできればと思う。
館長	本日欠席の委員にも日にちを伝えて調整したい。
委員	視察先の選考理由のところで、運営体制の異なる図書館、直営・指定管理者と書いてあるが、視察先はどのような体制の図書館か。
館長	直営である。当館も直営なので、今回は建物や当館と違うサービスなどを中心に見ていただきたいと思う。
委員	視察先は複合施設のようなが、今後白井の図書館が単館ではなく、複合施設的にっていくのか。
館長	当館は現在も複合施設だが、どういう連携を取っているか等も含め視察できればと思う。
委員	ネットでこの図書館を見ると、子育てに関係する施設もある複合施設だが、白井はそういうことまではしないで、あくまでもプラネタリウムとホールと図書館という感じの複合施設となるか。
文化センター長	当市の教育委員会の方針では4館の継続と出ているが、例えば子どもの居場所づくりに係る施設が欲しいとか、今まで市では連携をしていない部署

	からの要望をこれから受ける可能性ももちろんあるので、そういったところも含めて、いわゆる新しいリニューアルしたばかりの施設を見ていただければと思う。例えば今おっしゃった通り、視察先は、かなり子どもの居場所づくりについての施設が進んでいるかと思う。そういったところで、非常に有意義な視察になるのではと考えている。
会長	視察については以上でよいか。
	(2) 30周年記念事業について
委員	雑誌付録配布というのはとても興味があって、私も申し込みたいと思う。図書館利用者として書いてあるが、センター図書室利用者でもよいか。
事務局	図書館に来て申し込んでいただくことを想定している。
委員	今まではこういう付録はどうしていたか。
事務局	一定期間は保存しており、古くなって使えないものや化粧品などの試供品は処分している。その他の付録について保存期間を経過したためそれを利用しようということになった。袋詰めにする予定。
委員	結構大変な仕事になりそうだが、楽しみにしている。
会長	付録というのは具体的なイメージが全然わからないが、どういうものか。
事務局	年報の後ろに雑誌の一覧が載っているが、これらに付録がある場合は全てついてくるため、種類が大変多い。それを種類分けして、いくつかをセットにしてナンバーをつける。そのナンバーごとにお申し込みいただき、申し込み者が重複したら抽選を行い、当選者に差し上げるという形を取りたい。
委員	何が当たるかわからないわけではなく、図書館に来てサンプルみたいなものを見て、このナンバーが欲しいという形の抽選ということか。

事務局	そのとおりで、セットごとに写真を撮り、その写真のナンバーで申し込んでいただこうと思っている。
委員	なかなか盛りだくさんでいいなと思う。 記念事業の内容自体は、必ずしも 30 周年じゃなくて、31 年、32 年でもやっていただいてよい内容。 やることにより、図書館と利用者がもっと近づくコミュニケーションの場ができるのではないかというのが感想。 質問が一つあるが、前回、前々回の協議会でもそうだったと思うが、文化センターの 30 年史もしくは図書館の 30 年史はどうなったか。図書館の 30 年史作りますよ、という理解で受け取っていたが、今回それがないようだが、キャンセルになったのか。 ぜひお願いしたいと期待していたのだが。
館長	各館で 30 年史を作成できれば良いと思ったが、なかなか難しそうだ。ただ、7 月末まで 3 階の郷土資料館のギャラリーで、文化センターの 30 年のあゆみということでパネル展示をしている。皆さんにも資料を送らせていただいているが、各館ごとに 30 年のあゆみを 1 枚のパネルにまとめ、関係資料などと一緒に展示している。 図書館では、今回の 30 周年を記念して開催した事業をまとめ、来年度の年報に盛り込みたいと考えている。
委員	文化センターとして 30 年まとめるという計画もないか。
文化センター長	30 年史をまとめるにはマンパワーのいる仕事量だと思っている。現状の中では各館 1 ページの分量で作成するところまでで精いっぱいだった。
委員	残念だが、了とする。
文化センター長	1 点だけ補足させていただきたい。30 周年ということで、例えば記念講演会を開催するなど予算をかけるものであれば、もちろん予算の策定の段階で予算審議ということで議会にかけたりもして、いろいろご質問をいただいたりすることもあるが、今回は特に予算のかからない、職員のマンパワーでできるものが中心となっている。予算を組むものであれば本来 2 月の図書館協議会でかけさせていただくことも検討しなければいけなかったが、図書館の職員が知恵を出して行う行事ということで、今回のご提示となった。

委員	図書館と関係ないかもしれないが、以前あった食堂のところの空きスペースについては、今後どのようにしていくかという考えはあるか。
文化センター長	現段階では経営者を募集していて、喫茶としての募集をしている。 市の行政改革の観点から、使用料を徴収しようということではらせていただいている。 ただ、将来的に大規模改修となった場合において、あのスペースが果たして喫茶室でいいのか、それとももう少し違ったものでいいのかということとは、今年度と来年度をかけて行う基本計画の中でいろいろな検討はしていく。 その中で、例えば 30 年前にはなかったけれども、今必要なものが市民の皆さんから要望があればそういったものを検討していく。 現状、なぜ喫茶以外の用途への転換ができないかというと、喫茶室の中のエントランスに面している手すりが非常に低いためである。 そのあたりがクリアできれば本当は自習室の拡大とか、いろいろなことができるのだが、大規模改修を控えており、今改修してしまうと二重投資になってしまうので、現状では喫茶を募集している。 長期的に見た場合には、別の用途も市民の皆さんのご意見をいただきながら検討していく。
委員	図書館のところに来て、お昼を食べようかなというときに、食べる場所がない。あそこに座って食べられたらいいなといつも思っているので、今回お聞きした。
館長	その他、事務局の方から何点かお知らせがある。 先ほどの書庫の見学で電動書架を見ていただいたが、開館から 30 年の経年劣化で、いろいろ支障をきたすようになっている。数年前に基盤工事を行った B1 階の手前のブロックは順調に動いているが、その上の BM 階の調子が悪い。 基盤を直すには以前の倍以上費用がかかるため、応急処置になってしまうが、修繕費で賄える棚のケーブル 1 本だけ修理することになった。9 月の館内整理日に予定している。
事務局	セルフ貸出機の増設について。6 月の蔵書点検期間中に、貸出カウンターにセルフ貸出機を 1 台増設した。先に稼働しているスタンド式の 1 台と合わせて、利用者に利用を周知していきたい。

事務局	今年度の蔵書点検の結果報告。 本年度は6月5日から7日にセンター図書室、18日から21日に図書館、計7日間で行った。図書館とセンター図書室を合わせて23万点の点検を行い、所在不明数が260点、不明額は73万9480円となった。 昨年度と比べて19点の減。今回は特に社会科学や自然科学の分野と参考図書の不明が目立った。 さらに図書館では、昨年の蔵書点検以降に新しく購入した図書8153冊のうち23冊が所在不明となった。 今後の方針としては、今回不明の多かった分野と参考図書の一部、また、雑誌不明点数の多かったタイトルを書庫で保管し、利用の多い一部の週刊誌は引き続き最新号を差し替えとする。
委員	今の説明された中で2点質問。 辞典白書等の参考図書の不明が目立つということだが、これは貸出すことはできないものなのか。借り出せないから持っていったということが一般的に考えられるが、その時にコピーができないのか。
事務局	不明になった資料は、館内閲覧資料だが申請していただければコピーはできる。やはりその本のことが気になって持って行ってしまったのではないかな。
委員	辞典とか白書というのは、書庫にしまっておくと、それに関心を持っている人以外は気がつかず宝の持ち腐れのようになり、いちいちそれを出してもらう必要がある。辞典とか白書の類は、開架式だと使いやすいと思う。だから書庫に置くというのは、性急じゃないかなという気がする。 また、利用の一部の週刊誌は、引き続き最新号を差し替えという文言があるが、これはどういう意味か。盗難にあったら補充するという意味か。
事務局	一部の雑誌の最新号はカウンターで保管しており、閲覧希望者には、貸出カウンターで利用カードと引き換えにしている。
委員	先程の他の図書館の視察の件でお願いだが、今リニューアル計画が進んでいる中で、文化センターとしての問題課題、それから図書館としての課題とか懸案みたいなことが多分出てきているんじゃないかと。 ここを見てくださいというような指標みたいなものがあると、ウォッチングしやすい。また、他に何かあればそれは見てくるというようなペーパーを作っていただけると嬉しいなと思う。

館長	委員の皆さんに、見ていただきたいところをまとめ、紙ベースでお渡ししたいと思う。
委員	事業案のところで言えばよかったが、はじめてであうえほんについて。白井市は、ブックスタートはもうやめてしまっているが、万が一もう一度ブックスタートを行った場合、図書館と市の健康課とどちらから予算は出るのか。
館長	以前は図書館でブックスタートの予算を持っていたが、予算削減のため絵本の配布を中止せざるを得ない経緯があった。ただ行事として続けるために、はじめてであうえほんという名に改め、読み聞かせに行くという事は続けている状態である。
事務局	前回、トイレの荷物掛けがないというご意見があったが、その後、荷物掛けを設置した。 視察の日程については決まり次第ご連絡する。 次回第2回協議会は、令和7年2月27日（木）午後3時、場所はかおりホールを予定している。 これで閉会します。ありがとうございました。